

ホット

# 別所ライオン会

## 令和6年度 文化祭号

### 発行：大字福社会



人権学習会 6月30日 13時～  
DVD鑑賞 ふれあい推進委員  
『シェアしてみたらわかったこと』

このビデオは、視聴者が「人権」について自分の日常の問題として考える機会となるように制作されたものです。  
多くの人は「自分の普通の生活の中で差別はない、当然自分は差別をしない」と思っているかもしれませんが、「多くの人の普通」は、果たして本当に「普通」なのでしょうか？  
「親人である中にも来りてくるなんて、普通、普通でいいよ」「日本の生活が合わない人だったら、普通自分の国に帰るよね」「レスビアンとかゲイの人って趣味でしょう？何の権利が必要なのかよくわからない」... 少数の人は多くの人に合わせるが普通。「女性」「高齢者」など、特定の属性の人には分のわかりやすい方法がある、など「普通」として発せられた言葉に、無意識の偏見が含まれていることがあるのです。



ビデオの構成  
就職のためシェアハウスに入居する藤本未生、年齢も社会的立場も異なる大村らが、同じ屋根の下暮らししている。  
外国人に関する人権... 無意識に偏見を持ってしまったことには未生は気づいていく。性自認や性的指向に関する人権... トランスジェンダーである同居人の辛かった体験を知り、戸惑いを隠さない未生。  
外から見えない障害のある人の人権... 「わたし、発達障害なんです」同居人の母親の言葉が気になった未生は、インターネットで調べ発達障害について学んでいく。災害時の人権... 「こんな時だから仕方ない」とないがしろにされがちな問題をどうすればいいのか、共有していく。  
エンディング... 性別や年齢で分けられる「多くの人」もまた、一人一人違う属性があります。学んだことを社会の中で互いに共有(シェア)しながら進んでいく、一人一人が生きやすい社会になるため日常の問題として考え学び気付き今後に生かす、広くシェアしていくことが大切なことではないでしょうか？

「家内安全」と書かれてた短冊もありました。無邪気な顔で、偏見を込めずに用いられたのでしょうか。世界平和を願う短冊もありました。アインシュタインの名言、平和を保つ唯一の方法は【平和は力では保たれない、平和はただ理解し合うことによるのみ達成されるのだ】アインシュタインの名言は人権学習での答えそのものかもしれない♡♡♡



いさいさサロン 七夕会 6月30日  
『人権学習会』と『脳いさいさゲーム』  
別所農業集会所 13時～



笹飾りにはたくさんの種類がありますが、短冊を含めた7つの種類を「七つ飾り」と呼ぶそうです。それぞれ、込められる願いも異なります

『脳いさいさゲーム』 13時30分～  
橋元 成子氏 榎 浩子氏  
みんなで楽しくいきましょう

昨年も橋元さんにお越しいただき、リボンのゲームは盛り上がりました。今年も手を使わずのゲームを教えていただきジャンケンやチョキもう一方でゲームを作り上げるとカタツムリが出来ました。  
『でんでんむしむしかたつわり』歌に合わせて交互に繰り返します。子どものころ歌ったのにあたまが先か？めだまが先か？ 橋元さんの説明で、でんでんむしむしかたつわり お腹のあたは どこにある つのどせやりだせ あたまだせ 2番は お腹のめだまは どこにあるとなります。



集福花チーム 向日葵チーム

①	60点	26点
②	58点	33点
③	32点	60点

②勝1敗で集福花チームの優勝！  
活力と熱気を感じ、ボールが目を奪い上がり  
声と共にいつしか夢中でシートを引っ張り  
下ろせ、最後はチームでの一体感、このゲームはそれを体感させる内容でした。



町外研修バス旅行 10月23日  
『八幡堀めぐり』と『ラコリーナ』



『その昔、豊臣秀次が築いた八幡堀は琵琶湖とも繋がり、曲いものを運ぶ船が行き来しました。春には桜、夏には紅葉、秋には紅葉、冬には雪景色と四季折々の風景を...』スピーカーからの解説と折に触れて説明される船頭さんの話しを聞きながら、屋形の中を金木犀のかおりの風が通り過ぎエンジン音に揺られながら白壁の土蔵が立ち並ぶ情緒あふれる景色を楽しみました。



# 別所納涼祭

令和6年  
日時：8月14日(水) PM6時から  
場所：別所集会所

